

科目名	子ども学演習					開講 キャンパス	神 園
担当者	高 尾 兼 利						
開講年次	3	開講期	通年	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	この授業では、子どもを取り巻く様々な環境問題、子どもの歴史、心身の発達、遊び、子どもを対象とした表現活動、子どもの福祉など、子ども学に関する基礎知識を深める。授業では、1) 文献資料の収集、2) 調査・実験、3) レポートの作成、4) 発表や討論、5) 子育て支援体験活動を行い、主体的な学習力の向上をめざす。また、子どもに関する知識や理解を深めるため、実地見学や観察、調査などの体験的学習を積極的に行う。 なお、本演習は4年次開講「卒業研究」の基礎演習として位置づけられる。						
授 業 の 到達目標	1) 子どもや教育、保育に関する問題関心を深め探求することができる。 2) 文献を読んでその内容や要旨をレジュメにまとめることができる。 3) 次の3項の中から1項を選択し、選択したテーマについて理解したことを発表できる。 「子育て支援」「物語（絵本、紙芝居、昔話、童話、神話、映画）と子どもの心」「専門家（保育士、教師）のライフサイクル」 4) 研究方法について理解し、試験的に実施できる。 5) 卒業論文作成の基本的能力を習得する。						
学習方法	演習形式を中心とする						
テキスト及び参考書等	白井利明・高橋一郎著「よくわかる 卒論の書き方」ミネルヴァ書房						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート		◎	◎	○			40
授業態度	○	○	◎				20
受講者の発表		◎					20
授業への参加度			◎				20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション（ゼミ・教員紹介、ゼミの配属方法についての説明）						
第 2 週	研究室訪問（選択しようとするゼミの教員を訪問し、研究テーマについて話し合う）・希望調査票の提出						
第 3 週	ゼミ別オリエンテーション（授業の進め方、顔合わせ）						
第 4 週	子育て支援活動（子どもミュージアム）リハーサル 子育て支援活動（子どもミュージアム）						
第 5 週	子育て支援活動（子どもミュージアム）子育て体験活動（子どもミュージアム）						
第 6 週	「子育て支援」「物語と子どもの心」「専門家のライフサイクル」について理解し、これをもとに討論する。						
第 7 週	「子育て支援」「物語と子どもの心」「専門家のライフサイクル」について理解し、これをもとに討論する。						
第 8 週	選択したテーマについての解説書を探す。解説書の要約を作る。						
第 9 週	解説書の要約を作る。						
第 10 週	要約を発表する。要約をもとに討論する。						
第 11 週	より詳しく理解したいと思ったところを発表する。						
第 12 週	方法についての理解1（観察について理解する）						
第 13 週	方法についての理解2（質問紙調査について理解する）						
第 14 週	方法についての理解3（心理テスト、特に描画法について理解する）						
第 15 週	心理テスト（描画法）の実施						
第 16 週	心理テストの結果のレポート作成						
備 考	本授業の一環として、西九州大学子ども研究ネットワーク主催事業「子どもミュージアム」に参加します。授業前には、それまで学んだ内容を振り返っておくこと、授業後はノートを頼りに学習した内容を確認しておくこと。						